

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/09/05号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

## 金利&ドル上昇続く

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



ドル高、金利高の流れは続き、ゴールドは一時1700ドルを割り込み1689ドルまで下げました。しかし、注目の雇用統計が近づくにつれてじょじょにショートカバーが入り1700ドルを回復、週の終わりは1710ドルを超えての週末入りとなりました。雇用統計、NFPは31.5万人増と30万人増前後という市場予想よりも若干よい数字となりましたが、マーケットは大きな反応はありませんでした。CME FedWatchも9月の0.75%利上げの可能性は75%と雇用統計以前と変わらないレベルで、基本的にFRBの金利上げの見方を変更するのはなにもなかったということです。ただゴールドの1700ドル割れはやはり買い手が多いのでしょうか、一日にして戻しました。上海黄金交易所（SGE）のLoco London Goldに対して23ドルものプレミアム（割高）になっています。つまり中国ではゴールドの買いが盛り上がり、国際マーケットよりもこれだけ高くなっているということです。Loco Londonアカウントから実際にゴールドを紐付けて上海に輸入してもそのコストはたいていオンスあたり1ドルか2ドルくらいです。23ドルということは、ちょっと異常なプレミアムです。これは需要の盛り上がりに加えて、中央銀行である人民銀行からの輸入枠が取れるかどうか、中国の銀行が不安になり、輸入を控えているという背景もありそうです。いずれにしろ、ここまでの大きな乖離はめったになく、中国でのゴールド買いが盛り上がっていることには間違いありません。この実需の買いが、ドル高、金利高からくるゴールド売りの緩衝材になっていることは確かです。長期金利が3.2%を超えて、ドルインデックスが20年ぶりの高値レベルにあり、ドル円は140円を超えているのにここでとどまっているのはゴールドの底堅さではないでしょうか。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【マーケット・トピック】

### ゴールド以外の貴金属-PGM10

#### 「PGMマーケット」

#### 1. スポット・マーケット - Loco London/Zurich (続き)

ゴールド、シルバーとPGMのクリアリングがロンドンとスイスで分かれているのは、ゴールドは歴史的に英国の植民地からの輸送がロンドンに集結し、ロンドンが自然と世界のゴールド取引のハブとなりました。PGMも南アが英国の植民地であったことを考えるとロンドンであってもよいはずですが、ソ連も一大生産国であり、おそらくはその影響で西側のロンドンよりも、中立国であったスイスがそのハブになったものと思われまます。ソ連時代はゴールドもソ連はスイスに送っていました。しかしここ数年はPGMでもLoco Londonが取引されており、現状はこのふたつのロケーションが同時に取引されているような形になっています。取引の形態はゴールドそしてシルバーと全く同じです。1トロイオンス当たりのドル建て価格で、スポット取引は二営業日後決済となります。

#### 2. 先物市場

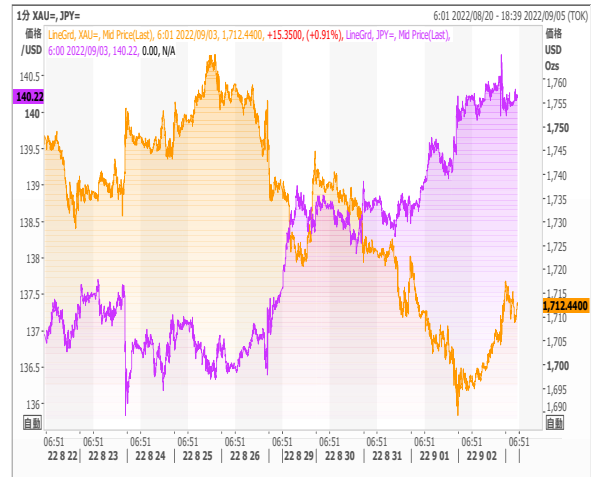
これもほぼゴールド&シルバーと同じですが、圧倒的に大きな先物市場はニューヨークにあります。ゴールドとシルバーはComex (Commodity Exchange) で取引され、PGMはNymex (New York Mercantile Exchange) です。この二つのマーケットはずっと隣り合っています。あの2011年のテロにあった貿易センタービルに入っていました。ComexはNymexに吸収され、NymexはCMEに買われて、現在では全部まとめてCMEと呼ばれたりしますが、歴史的な流れから、未だにComex、Nymexと呼ばれることもあり、これはどちらも同じことです。GoldとシルバーではComexの取引量がLoco Londonに並ぶくらい大きいのですが、PGMではNymexの先物市場よりもLoco Zurichの方が若干大きいのが現状です。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

